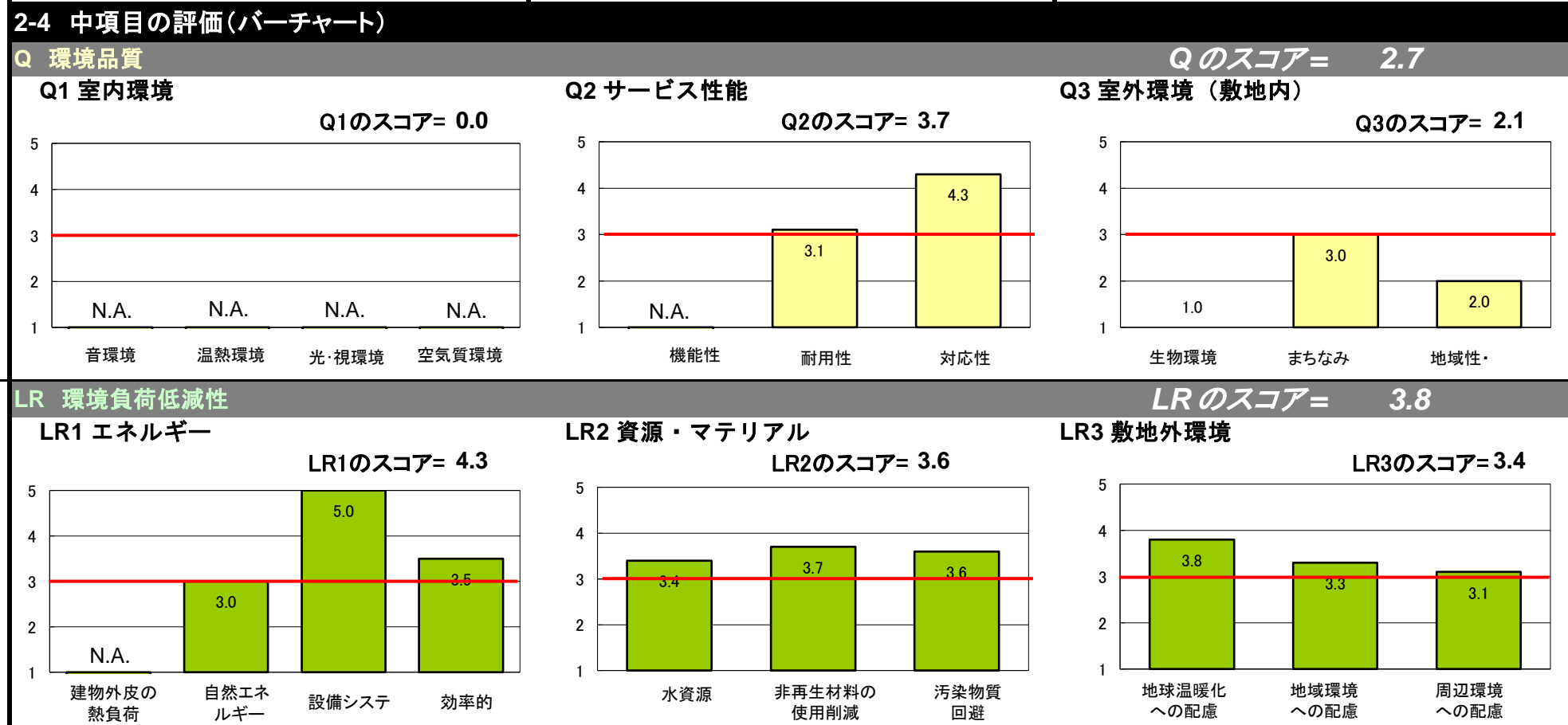
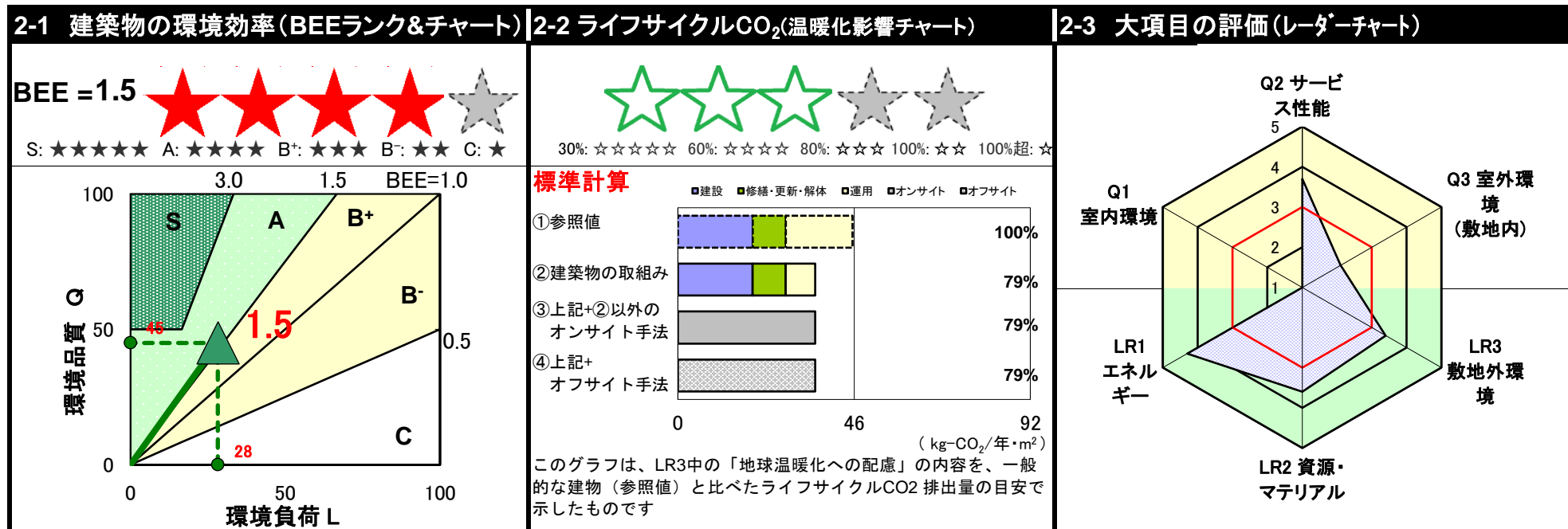


# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	CPD福知山	階数	地上2F
建設地	京都府福知山市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条地域	平均居住人員	180 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2024年1月23日
敷地面積	29,875 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社イズミコンサルティング
建築面積	14,275 m <sup>2</sup>	確認日	2024年1月23日
延床面積	28,126 m <sup>2</sup>	確認者	東亜建設工業株式会社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	資源・マテリアル性に配慮し、環境負荷低減に努めている。機能的な空間づくり、省エネルギーへの配慮に取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
-	階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	防犯カメラの設置など防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	ノンフロン断熱材を採用するなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。	燃焼器具を使用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される